



ヒューマンインタフェースシンポジウム 2022 2022年8月31日(水)～9月2日(金) 関西大学



interFACE

皆様もご存知の通り、ヒューマンインタフェース学会では、コロナウイルス感染拡大の影響により、一昨年、昨年と2年間、オンラインでのシンポジウム開催となりました。このたび、私は大会長という大役を仰せつかりました。私はまず、大会長として今大会はぜひとも参加者の皆様方と直接対面の形式でのシンポジウムを開催したい、と表明しました。そこで、今年度のシンポジウムのテーマを「interFACE」としました。皆さんと直接Face to FaceでHIに関わる研究を議論するという表現をイメージしております。

社会はこの2年間で大きく変化しました。これは全く予想だにできなかった変化でしたが、次第に人類は適応しつつも、ストレスを抱えつつ日々を過ごしています。HIはこの社会変化にどのような貢献ができるのでしょうか。HIはいろいろな指向性を持つ研究者が集まった学問領域です。きっとHI領域から変化した社会に向けての新たな貢献の手段が見いだせるのではないかと考えています。特別講演はBiPSEE社の代表取締役である松村雅代氏に依頼しました。医師でもある松村氏はデジタル治療薬研究の第一人者であり、VRと医学の融合からデジタル技術が医療にどのように貢献できるかという課題に取り組んでおられます。HI領域のアウトリーチの1つとしてデジタル治療という概念が、現在の社会変化への貢献につながるのではないかと、松村氏の講演に期待しています。

開催地は大阪です。関西での開催は2019年以来となります。また、本学、関西大学で行うシンポジウムはHI1997以来、25年ぶりとなります。もちろん、現段階では、100%対面形式として、「大阪にお越しください!」と言い切れない歯がゆさがあります。ですが、そうなることを祈りつつ、実行委員会一同準備を進めてまいります。ぜひ皆様とこのヒューマンインタフェース学会の最も大きなイベントを、大阪まで足を運んでいただき、そして、interFACEでHIの今後に向けた議論を活発に進めていただくことになれば幸いです。

大会長 小谷 賢太郎 (関西大学)

■主催：特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会

■協賛学会

映像情報メディア学会、応用物理学会、教育システム情報学会、計測自動制御学会、サービス学会、自動車技術会、情報処理学会、照明学会、人工知能学会、スマートサウンドデザインソサエティ、スマートライフ学会、精密工学会、電気学会、電子情報通信学会、日本VR医学会、日本顔学会、日本化学会、日本感性工学会、日本機械学会、日本原子力学会、日本建築学会、日本工学会、日本色彩学会、日本手話学会、日本心理学会、日本生活支援工学会、日本生体医工学会、日本ソフトウェア科学会、日本知能情報ファジィ学会、日本人間工学会、日本バーチャルリアリティ学会、日本リハビリテーション医学会、日本リハビリテーション工学協会、日本ロボット学会、人間中心設計推進機構、バイオメカニズム学会、日本航空宇宙学会



■日程表

- ※ A 会場→100周年記念会館 2階 ホール 1 ※ B 会場→第3学舎 2階 A202
 ※ C 会場→第3学舎 3階 A301 ※ D 会場→第3学舎 3階 D302
 ※ E 会場→第3学舎 3階 A303 ※ F 会場→第3学舎 3階 A304
 ※ G 会場→第3学舎 4階 A404 ※ H 会場→第3学舎 4階 A405

8/31

受付開始 8:30

9:00 ~ 12:00
※コース5は10:30~12:00

13:00 ~ 13:20

13:30 ~ 15:00

15:15 ~ 16:45

17:00 ~ 18:30

9/1

受付開始 9:00

10:00 ~ 12:00

13:00 ~ 13:20

13:30 ~ 15:00

15:15 ~ 15:45

16:00 ~ 17:00

18:00 ~ 20:00

9/2

受付開始 9:00

10:00 ~ 10:20

10:30 ~ 12:00

13:30 ~ 15:00

15:30 ~ 16:00

	A 会場	B 会場	C 会場	D 会場	E 会場
9:00 ~ 12:00	講習会 コース 1	講習会 コース 2	講習会 コース 3	講習会 コース 4	講習会 コース 5
13:00 ~ 13:20	ショットガンセッション (会場: A 会場 (100周年記念会館 2階 ホール 1))				
13:30 ~ 15:00	対話発表 1T (会場: 100周年記念会館 2階 ホール 2 /ロビー (モニュメント前))				
15:15 ~ 16:45	A 会場 討論発表 1A 生体計測 1	B 会場 討論発表 1B 身体的インタラクション	C 会場 討論発表 1C 住まい・生活	D 会場 討論発表 1D 交通	
17:00 ~ 18:30	E 会場 ワークショップ 1	F 会場 ワークショップ 2	G 会場 ワークショップ 3	H 会場 ワークショップ 4	B 会場 ワークショップ 5
9:00 ~ 12:00	A 会場 討論発表 2A 生体計測 2	B 会場 討論発表 2B 社会デザイン	C 会場 討論発表 2C 感覚・知覚	D 会場 討論発表 2D 一般 (オンライン発表)	
13:00 ~ 13:20	ショットガンセッション (会場: A 会場 (100周年記念会館 2階 ホール 1))				
13:30 ~ 15:00	対話発表 2T (会場: 100周年記念会館 2階 ホール 2 /ロビー (モニュメント前))				
15:15 ~ 15:45	HI2022 大会長挨拶・HI2023 アピールタイム・企業展示アピールタイム (会場: A 会場)				
16:00 ~ 17:00	特別講演 (会場: A 会場 (100周年記念会館 2階 ホール 1))				
18:00 ~ 20:00	ソーシャルイベント				
10:00 ~ 10:20	ショットガンセッション (会場: A 会場 (100周年記念会館 2階 ホール 1))				
10:30 ~ 12:00	対話発表 3T (会場: 100周年記念会館 2階 ホール 2 /ロビー (モニュメント前))				
13:30 ~ 15:00	A 会場 討論発表 3A 障がい者・高齢者支援	B 会場 討論発表 3B コミュニケーションデザイン	C 会場 討論発表 3C サービスデザイン	D 会場 討論発表 3D 入出力	
15:30 ~ 16:00	閉会式・プレゼンテーション賞表彰式 (会場: A 会場 (100周年記念会館 2階 ホール 1))				



● 8月31日（水）

■ 講習会

コース 1 (9:00 ~ 12:00)

「統計分析の基本と R を使った実践（オンライン受講可）」

コース 2 (9:00 ~ 12:00)

「アフォーダンスの思想史と実践、展望（オンライン受講可）」

コース 3 (9:00 ~ 12:00)

「Unity で始める簡単 3D 可視化ワークショップ（オンライン受講可）」

コース 4 (9:00 ~ 12:00)

「仲良い分野融合から始まる e-Sports x HI 研究（オンライン受講可）」

コース 5 (10:30 ~ 12:00)

「ソーシャル・メディアの情報処理（オンライン受講不可）」

■ コース 1

「統計分析の基本と R を使った実践」

(9:00 ~ 12:00 会場：A 会場（100 周年記念会館 ホール 1）)

ヒューマンインタフェース研究では被験者実験が多く行われ、多くの場合定量データが取得される。そうした定量データに対しては当然ながら分散分析を中心とした統計分析が行われるが、多くの初学者は、先生や先輩の言われるがままにエクセルを操作したり、コードを叩いたりして、どうにかこうにか「それっぽい」結果を出しているのが現状ではないだろうか。そこで本講習会では改めて分散分析とはどういうものなのかを説明するとともに、実際に R を使って分散分析を行ったり、多重比較を行ったり、さらに最近はやが言及することが求められることの多い効果量を求めたりする方法を説明する。

主として、学部 4 年生や大学院 1 年生など、これまで統計分析にあまり触れたことのない学生や、自分の統計分析スキルに自信を持っていない社会人一般の方の聴講を期待します。

講師：藤野 秀則（福井県立大学）

2002 年京都大学工学部電気電子工学科卒業。2004 年京都大学大学院エネルギー科学研究科修士課程修了。2008 年京都大学大学院エネルギー科学研究科博士課程修了。博士（エネルギー科学）。2008 年 JR 西日本安全研究所。2015 年福井県立大経済学部講師。2018 年より同准教授。研究テーマは、原発や鉄道、医療など、安全・安定稼働が求められるシステムを対象に、人を特性を考慮した安全管理の在り方や組織管理の在り方、さらには組織への安全文化構築にむけた方法論の追究。



■コース 2

「アフォーダンスの思想史と実践、展望」

(9:00 ~ 12:00 会場：B 会場 (第 3 学舎 A202))

ヒューマンインタフェースの分野では「ノーマンのアフォーダンス」(シグニファイア)が着目されがちですが、人間と環境の相互作用という根本的な視点から、使用者と道具・機械との関係性をデザインする必要もあると思われます。

特に、ロボットや自動運転車などが広まり、各種センサ、通信ネットワーク、さらには人工知能などの技術が環境に埋め込まれていく状況において、そうした人工環境と使用者との関係を考慮したデザインの手がかりとしてアフォーダンス、生態心理学がますます重要になると考えられます。

そこで、以下のような 2 部構成からなる講習会を実施いたします。

第一部：アフォーダンスの思想史、展望 (90 分)

染谷 昌義 (高千穂大学)

James J. Gibson (1904-1979) の「生態学的アプローチ／生態心理学」の根底には、環境と生命活動に対する思想上の大きな転換がある。それは、たとえば「私が環境を見る」から「環境が私に見えさせている」へ、「私がハンマーで釘を打つ」から「ハンマーと釘が私に打たせている」への転換だ。環境には、見るための資源としての光情報が、行為のための資源としてのアフォーダンスが豊かにある。この観点から見えてくる、環境と生命との相互作用の哲学的・思想的意義を紹介する。

第二部：アフォーダンスの実践 (90 分)

三嶋 博之 (早稲田大学)

ギブソン派の生態心理学者たちによって行われてきたアフォーダンス研究の実践例——自己の身体を参照枠としたアフォーダンス知覚、オプティックフローの知覚にもとづく行為のタイミング制御、ダイナミックタッチによる身体あるいは身体の延長の知覚等——に関するレビューを通じて、ギブソン生態心理学におけるアフォーダンス等の重要概念の意味を解説すると共に、その応用的価値について議論する。

講師：染谷 昌義 (高千穂大学)

高千穂大学人間科学部教授。2003 年東京大学大学院総合文化研究科博士課程単位取得退学。同年東京大学総合文化研究科 21 世紀 COE プログラム「共生のための国際哲学交流センタ (UTCP) 研究拠点形成特任研究員。2006 年東京大学大学院総合文化研究科課程博士修了。博士 (学術)。2007 年高千穂大学人間科学部准教授。2017 年現職。

著書に『知覚経験の生態学—哲学へのエコロジカル・アプローチ』(2017、勁草書房)、『身体とアフォーダンス—ギブソン『生態学的知覚システム』から読み解く』(共著、2018、金子書房) など。

講師：三嶋 博之 (早稲田大学)

早稲田大学 人間科学学術院 教授。1997 年早稲田大学大学院人間科学研究科博士後期課程修了。博士 (人間科学)。

1994 年日本学術振興会特別研究員、1996 年早稲田大学人間科学部人間基礎科学科助手、1998 年福井大学教育学部助教授、1999 年福井大学教育地域科学部准教授。2007 年早稲田大学人間科学学術院准教授を経て、2017 年より現職。

著書：『エコロジカル・マインド：知性と環境をつなぐ心理学』(日本放送出版協会) 等



■コース 3

「Unity で始める簡単 3D 可視化ワークショップ」

(9:00 ~ 12:00 会場：C 会場 (第 3 学舎 A301))

Unity は 3D ゲーム開発のための開発環境としてリリースされ、その後 2D ゲームに広がり、ゲーム開発のデファクトスタンダードとなりました。現在ではバーチャルリアリティ、産業用ソフトウェア、映像コンテンツなどゲームという枠を超えて様々な分野で利用され、学術研究でも Unity を使ったデモンストレーションが多く見られます。

本講習会では Unity でテキストデータを読み込み、3D の表示を行うプロジェクトを使い、Unity の基本的な機能を解説します。まったく Unity を触ったことがない初心者の方でも参加していただける見込みです。

本講習会に参加される方はあらかじめ Unity Hub をインストールし、Unity 2021.3.7f1 をインストールしておいてください (最新版ではありません)。

なお、本講習会は PC の持ち込み (参加者による用意) が必須となります。推奨スペックについては <https://docs.unity3d.com/ja/2021.2/Manual/system-requirements.html> を参照してください。

■コース 4

「仲良い分野融合から始まる e-Sports × HI 研究」

(9:00 ~ 12:00 会場：D 会場 (第 3 学舎 D302))

情報工学系分野の背景をもちつつ e-Sports 研究を行うための方法論、とまで大げさなものではありませんが、私の経験談、戦略思想の一部、コツをお話させて頂こうと思います。主に、教育型私立大学の研究室での活動をベースにした、テーマ設定の仕方、PI 側のノウハウを使いやすい状況へどうもっていくかなどのお話となりますが、手持ちテーマを広げてみたい若手研究者や、e-Sports に興味をお持ちの企業様向けのお話もさせて頂こうと思います。

講師：梶並 知記 (文教大学)

2010 年首都大学東京大学院システムデザイン研究科博士後期課程修了。博士 (工学)。現在、文教大学情報学部准教授。学生時代、意思決定支援のための情報可視化インタフェースに関する研究に従事しつつ、ゲーム研究への応用を模索。2010 年東京工科大学助教、2012 年神奈川工科大学助教と渡り歩く間、本務の傍ら、情報可視化×e-Sports ともいえる研究テーマを開拓。2016 年岡山理科大学講師着任から e-Sports 研究を表看板にし、2019 年に文教大学へ移り 2021 年より現職。



■コース 5

「ソーシャル・メディアの情報処理」

(10:30 ~ 12:00 会場：E会場 (第3学舎 A303))

Twitter に代表されるソーシャル・メディアは、いまやマスメディアにとって代わるメディアとなっています。ソーシャル・メディアには、ユーザ発信の様々な意見や情報が大量に蓄積されており、その活用について注目が高まっています。本講習会では、ツイートのテキスト処理からマップ上への可視化まで一連のソーシャル・メディアデータの分析方法や応用事例を紹介します。受講者には実際のツイートデータを用いた演習に取り組んでいただきます。聴講者の方はPC持参をお願いいたします。

講師：荒牧 英治 (奈良先端科学技術大学院大学)

2000年 京都大学総合人間学部基礎科学科卒業。2005年 東京大学大学院情報理工学系研究科博士課程修了。博士 (情報理工学)。2005年 東京大学医学部附属病院特任助教、などを経て、2020年 奈良先端科学技術大学院大学教授。

講師：若宮 翔子 (奈良先端科学技術大学院大学)

奈良先端科学技術大学院大学 先端科学技術研究科 准教授。2013年 兵庫県立大学大学院環境人間学研究科博士課程修了。博士 (環境人間学)。2013年 日本学術振興会 特別研究員 PD、2014年 京都産業大学 コンピュータ理工学部 研究員、2015年 奈良先端科学技術大学院大学 研究推進機構博士研究員、特任助教を経て、2020年より現職。

■ショットガンセッション

(13:00 ~ 13:20 会場：A会場 (100周年記念会館 ホール 1))

■対話発表 (31件)

(13:30 ~ 15:00 会場:100周年記念会館 2階 ホール 2 /ロビー (モニュメント前))

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■討論発表 (11件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。



■ワークショップ

- WS1 「デザイン思想・哲学専門研究委員会はじめます。」 (17:00～18:30)
- WS2 「SIGMAS チャンネル Act.3
「安全マネジメントの在り方の再考：番外編」」 (17:00～18:30)
- WS3 「街を歩いて HI 研究の種を見つけよう」 (17:00～18:30)
- WS4 「MediaPipe で Go! Servo!」 (17:00～18:30)
- WS5 「デザインのステークホルダーの呼称について考える」
(17:00～18:30)

■ワークショップ 1 (17:00～18:30 会場：E 会場 (第3 学舎 A303))

「デザイン思想・哲学専門研究委員会はじめます。」

提案組織：デザイン思想・哲学専門研究委員会 (SIG-DPs)

SIG-DPs (Design Philosophies) では、人間と道具・機械、広くは技術とのよりよい関係をデザインするために、人間と技術の関係性を扱う思想や哲学を、工学、デザイン学、文学、歴史学、哲学など多様な立場から取り上げて議論します。あわせて、それらの思想・哲学による先端的な技術の分析やデザインの方法への展開についても検討します。

本ワークショップでは、多様な分野で扱われる、人間と技術の関係を示す言葉や概念を 2-3 取り上げ、分野間における差異と同一性の議論を通して、その範囲を見出してみます。対象となる言葉や概念は、運営委員を対象に事前に調査しますが、参加予定者からも広く受け付けます。

登壇予定者：SIG-DPs 運営委員

■ワークショップ 2 (17:00～18:30 会場：F 会場 (第3 学舎 A304))

「SIGMAS チャンネル Act.3

「安全マネジメントの在り方の再考：番外編」

提案組織：安全管理支援技術専門研究委員会 (SIGMAS)

MC・FUJINO (?) が贈る、これからの安全研究や安全実務を考える参加型トーク番組の第3弾。今回は、HI シンポジウム会場のスタジオ (?) も交え、「安全マネジメントの在り方の再考：番外編」と題してトークします。

先の日本学術会議主催の安全工学シンポジウムで、MC・FUJINO が企画者となって「安全マネジメントの在り方の再考」と題するセッションを開催しました。そちらでは、先日翻訳版が発売になった Sydney Decker 著「Safety Anarchist」の翻訳者の方々と、最近まで航空業界で安全管理に携わってられた方をお招きし、今日の安全マネジメントが本当に安全を守れているのか、「安全のための規制」ではなく「規制のための規制」になっていないか、といったことについて議論しました。

ただ、あの場ではまったく時間が全く足りず、議論が消化不良のままになってしまった感が MC・FUJINO としてはあります (^_^;)

ということで、今回はその続きとして、改めて今日の安全マネジメントの在り方について、ワイワイガヤガヤとフリートークをしていければと考えています!! 特に「講演を聞く」ではなく「議論する」というのを中心に据えた形で実施していきたいと思えます。

安全工学シンポジウムにご参加いただいていた方はもちろん、「そちらには参加してなかったよ～」という方や、Decker 本をまだ読んでないという方も、冒頭でと先のシンポジウムでの話きちんとをおさらいをしますので、是非奮ってご参加・ご聴講ください。

対面での参加が難しい方は、Zoom からのご参加もいただけます。Zoom 参加をご希望の方は、下記のリンクから参加申込してください。 <https://forms.gle/JwSXQqo8Yetjv6sY8>



■ワークショップ 3 (17:00 ~ 18:30 会場：G 会場 (第 3 学舎 A404))

「街を歩いて HI 研究の種を見つけよう」

提案組織：コミュニケーション支援専門研究会 (SIGCE)

街中にはさまざまな広告や案内、お願い、指示など人から人へと情報を伝達し、人の行動に変化を与えるものが溢れています。それらがそれぞれの環境の中でどのように機能し、どのような効果を生み出しているのかなど、現場（フィールド）の中から観察しないと見えてこない、聞こえてこない、感じられない情報がたくさんあると思います。中には「うまいことやってるなー」「なるほどそれは効果的だ」と言ったような工夫なのか、偶然の産物なのか、暗黙知なのか、文化なのかよくわからないコミュニケーション HI がきつと多く見つかるはず

です。
HI 研究は言うまでもなく、生きている人のための研究です。ならば生きている人が生活している環境の中こそ、問題にすべき課題や知見が埋まっていると考えることもできます。しかしなんだかいつの間にか HI 研究はアカデミズムの衣裳を纏い、生きている人と共にある研究であることをうっかりすると忘れてしまったりします。

大阪の街というのは、そういう生きている人のリアリティを強く感じる街でもあります。それは同時に HI 研究のタネがいたるところに埋め込まれているということでしょう。生きている人と人を結びつけている力が、単に人の力だけでなく道具や環境、情報、メディア、知覚能力、言語、色・形、音・声、時間・タイミングなどのさまざまな要素・要因の相互作用によって生み出されている可能性が、この街の中にはきつと無限にあるはず。ですから、この多様な相互作用にその現場に立って気づくことで、HI 研究の素の面白さに出会えるのではないかと期待しています。

当日、ご参加になっている人数に応じてグループを作成し、いくつかのコースに別れて散策に出かける予定です。

なお WS に関連するコンテンツは、期間内で計画中の SIGCE 談話会にて集約する予定です。本 WS に事前申込は必要ありません。直接、会場にお越し下さい。

登壇予定者：SIGCE 運営委員

■ワークショップ 4 (17:00 ~ 18:30 会場：H 会場 (第 3 学舎 A405))

「MediaPipe で Go! Servo!」

提案組織：アクセシブル・インタフェース専門研究委員会 (SIGACI)

Google の提供する AI ライブラリ、MediaPipe を使って無線でサーボモータを動かす「モノ作り系ワークショップ」です。ヒトが動くときサーボも動く！…というものを作ります。先日の第 188 回研究会 (SIGACI-29 @ 京都) にて「誰でも簡単に作れます〜♪」と言い切った手前、初心者が対象です。

python は少し触ったことあるけどマイコンの経験はありません、という方大歓迎。ノートパソコンはご持参いただきますが、ハードウェアの材料はこちらで用意いたします。

「python と MediaPipe のインストールおよび動作確認、Arduino.exe のインストールと環境設定」まで事前に行っておいて頂き、当日はマイコンとサーボの接続、サンプルプログラムの実行と自作システムの実装、を行う予定です。

登壇予定者：小林 真 (筑波技術大学)

SIGACI ワークショップ in HI2022 のページ

https://www.cs.k.tsukuba-tech.ac.jp/labo/koba/research/sigaci_ws_in_hi2022/



■ワークショップ5 (17:00～18:30 会場：B会場 (第3学舎 A202))

「デザインのステークホルダーの呼称について考える」

提案組織：ユーザエクスペリエンス及びサービスデザイン専門研究委員会
(SIG-UXSD)

ユーザー、被験者、調査対象者、生活者、市民、……デザイン活動の対象となる人たちを
実践や論文の中でどのように呼称すればよいか悩んだことはありませんか？デザイン研究の
領域では今、本来多様な文脈を持っているはずの人たちを、特定の呼称が意味する文脈によっ
て単純化してしまうことの問題が、デザインの研究者や実践者を含む「呼称する側」の権威
性と共に議論されています。例えば、デザインプロセスの過程で（つまり、まだ最終成果物
が存在しない段階で）「ユーザー」に言及するということは、誰かがユーザーになる際の複雑
性や文脈の多様性を狭めてしまう可能性があります。また、「ユーザー」という表現は、本人
の意思に反してそれ（サービスや製品、システムなど）を享受できない人や、それを望まな
い人をないがしろにしているという批判もあります。

このような課題意識から、このワークショップでは、次のような狙いを設定しています。

1) HI とデザインにおける研究者および実践者とその他の参加者との関係性の問題に対する
共通理解を確立する；2) 特定の呼称が与える影響について議論する；3) 様々な呼称の境界
を記述し、それぞれの基本的な関係の構造的理解を示すマップを共同で作成する。論文やガ
イドライン、ポートフォリオなど、種々のデザイン成果物やデザインプロセスにおいて我々
がデザインの参加者をどのように呼称すればよいかの指針の作成に向けて、ワークショップ
を企画しました。HI やデザイン、その隣接領域の研究者や実践者、学生のみなさまのご参加
をお待ちしております。

登壇予定者：SIG-UXSD 運営委員



● 9月1日 (木)

■特別講演 (16:00 ~ 17:00 会場：A会場 (100周年記念会館 ホール1))

「デジタルが拓く、ココロとからだとの新たな向き合い方」

松村 雅代 (高知大学 /BiPSEE)



COVID-19 のパンデミックは、社会のありかたや働き方を激変させ、感染状況が落ち着きを見せた後も、私たちは心と身体に大きな影響を受け続けている。マイナスの影響を危惧する声が大いの中、明確なプラスの変化としてあげられるのが、治療領域におけるデジタル技術の活用である。具体的には、オンライン診療とデジタル療法 (Digital Therapeutics(DTx)) の広がりである。特に米国において、医療におけるデジタルの台頭は顕著であった。

演者は、心療内科医として臨床を担いつつ、med-tech startup である BiPSEE の代表として、VR を用いたうつ病のデジタル療法の開発を進めてきた。メンタルヘルス領域に力点を置きながら、以下の3点について現状と可能性をお伝えする。

1. 医療におけるデジタル技術：
デジタルヘルス (Digital Health)、デジタル医療 (Digital Medicine)、デジタル療法 (Digital Therapeutics) の違いと活用の実際を整理する。
2. ひとが本来もつ力を引き出す VR：
従来の治療法との違いを、パイロットスタディ等による検証の状況から、従来のアプローチの違いを説明する。
3. メタバースと医療：
VR空間で何ができるか、に専ら注目が集めるメタバース。医療においては、リアルと相互補完することが重要となると考えている。

【プロフィール】

松村 雅代、MBA、MD

心療内科医・高知大学医学部「医療×VR」学特任教授・(株) BiPSEE 代表取締役
筑波大学卒業後、(株) リクルートを経て、Case Western Reserve Univ. (米国)
へ留学し MBA (経営学修士・医療経営学) を取得。米国医療ベンチャー Skila Inc.
日本支社代表等を経て、2002年岡山大学医学部に学士編入。

2006年医師国家資格を取得。岡山大学病院総合診療内科・横浜労災病院心療内科
にて心療内科専門研修を修了。2014年より昭和大学附属烏山病院等で成人発達障
害外来を担当 (~2021年)。並行して、JFE スチール (株)、(株) NTT データ等
で産業医を務める。

2017年に (株) BiPSEE を設立し、メンタル領域の VR デジタル治療薬の開発を進
めている。2021年3月より、高知大学医学部「医療×VR」学の特任教授に就任。
現在も、心療内科臨床を継続している。

[専門資格等]

日本内科学会認定医

日本心療内科学会認定登録医

労働衛生コンサルタント (保健衛生)



■ 討論発表 (12 件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■ ショットガンセッション

(13:00 ~ 13:20 会場: A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1))

■ 対話発表 (30 件)

(13:30 ~ 15:00 会場: 100 周年記念会館 2 階 ホール 2 / ロビー (モニュメント前))

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■ HI2022 大会長挨拶・HI2023 アピールタイム・企業展示アピールタイム

(15:15 ~ 15:45 会場: A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1))

■ ソーシャルイベント「とんぼりリバークルーズ」(18:00 ~ 20:00)

● 9 月 2 日 (金)

■ ショットガンセッション

(10:00 ~ 10:20 会場: A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1))

■ 対話発表 (31 件)

(10:30 ~ 12:00 会場: 100 周年記念会館 2 階 ホール 2 / ロビー (モニュメント前))

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■ 討論発表 (12 件)

発表プログラムは後ページをご参照下さい。

■ 閉会式・プレゼンテーション賞表彰式

(15:30 ~ 16:00 会場: A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1))



8月31日(水)

講習会

A会場 (100周年記念会館 ホール1)	B会場 (第3学舎 A202)	C会場 (第3学舎 A301)
講習会 1 9:00 ~ 12:00 統計分析の基本と R を使った実践	講習会 2 9:00 ~ 12:00 アフォーダンスの思想史と実践、展望	講習会 3 9:00 ~ 12:00 Unity で始める簡単 3D 可視化 ワークショップ

対話発表

ショットガンセッション (会場: A会場 (100周年記念会館 ホール1))	13:00 ~ 13:20
--	---------------

会場: 100周年記念会館 2階 ホール2 /ロビー (モニュメント前)	
--------------------------------------	--

1T 審査員: 伊藤 雄一 (青山学院大学) 土方 嘉徳 (関西学院大学)	13:30 ~ 15:00	1T 審査員: 中茂 睦弘 (湘南工科大学) 山本 倫也 (関西学院大学)	13:30 ~ 15:00
<ul style="list-style-type: none"> • 1T-D1 鏡面搭載自律ドローンとの協調撮影によるオクルージョンに頑健な環境再構成手法 野田 歩夢, 原園 友規, 上田 樹美, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) • 1T-D2 MR を用いた読書環境における文字の表現方式と詩の印象の違いに関する考察 横濱 拓樹, 柏木 敏朗, 山本 恭裕, 中小路 久美代 (公立ほこだて未来大学) • 1T-D3 自己肯定感向上のための透明人間体験隠消現実感システムの開発 佐々木 眞帆, 石井 裕剛, 上田 樹美, 下田 宏 (京都大学) • 1T-D4 身近な環境における VR 災害体験が防災の意識に及ぼす影響の評価 浅場 渉, 上田 樹美, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) • 1T-D5 VR 牽引体験を通じた盲導犬への理解促進の試み 小山 大嘉, 青山 一真 (東京大学) 不二門 尚, 阿曾沼 早苗 (大阪大学) 渡邊 学, 雨宮 智浩 (東京大学) • 1T-D6 ニギッテ!! 魔術無双 一筋電位計測に基づく UI 操作を導入した VR アトラクション 市原 瑞士, 狩山 大治, 樋口 雄大, 野崎 颯人 (立命館大学) Christian Arzate Cruz (立命館グローバル・イノベーション研究機構) 柴田 史久, 木村 朝子 (立命館大学) • 1T-D7 社会的孤立感の緩和を目的としたおもちゃの CG シミュレーションを用いた印象評価 草替 悠希, 北村 美和子, 鈴木 暁, 石井 裕, 渡辺 富夫 (岡山県立大学) 		<ul style="list-style-type: none"> • 1T-D8 瞳孔反応のミラーリングによる音声駆動型身体的傾聴システムの評価 瀬島 吉裕 (関西大学), 渡辺 富夫 (岡山県立大学) • 1T-D9 継ぎ目のあるプログラミング環境に関する考察 赤池 英夫 (電気通信大学) • 1T-P1 オンラインコミュニケーションにおける参加人数が場の盛り上がりを与える影響 森田 大樹, 稲垣 早希, 瀬島 吉裕 (関西大学) • 1T-P2 エージェントとの対話機能を持つ歴史文化案内システムの開発 近藤 景成, 石井 裕, 渡辺 富夫 (岡山県立大学) • 1T-P3 デスクワークのストレス緩和を目指す内受容感覚提示抱き枕型デバイスの検討 神牧 尚希, 森山 空耶, 米澤 朋子 (関西大学) • 1T-P4 中学校技術家庭科技術分野におけるマルチアングルによる教材の作成 黒田 勉 (香川大学) • 1T-P5 ひらがな 50 文字が入力可能な SSVEP-BCI 近藤 蒼大, 田中 久弥 (工学院大学) • 1T-P6 予測の杖: 遅延が操作主体感に及ぼす影響と数理的インタフェース設計 磯野 将希, 柳澤 秀吉 (東京大学) 	



D 会場 (第 3 学舎 D302)	E 会場 (第 3 学舎 A303)
講習会 4 9:00 ~ 12:00 仲良い分野融合から始まる e-Sports x HI 研究	講習会 5 10:30 ~ 12:00 ソーシャル・メディアの情報処理

ショットガンセッション (会場: A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1))	13:00 ~ 13:20
---	---------------

会場: 100 周年記念会館 2 階 ホール 2 /ロビー (モニュメント前)	
---	--

1T 13:30 ~ 15:00 審査員: 大島 直樹 (豊橋技術科学大学) 才脇 直樹 (奈良女子大学)	1T 13:30 ~ 15:00 審査員: 北村 尊義 (香川大学) 黒田 勉 (香川大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 1T-P7 インタースペースを用いた Safety2.0 による安全・安心・ウェルビーイングの向上 清水 隆義, 福井 秀利, 藤谷 繁年, 土肥 正男, 藤田 俊弘 (IDEC) • 1T-P8 分散表現を利用した概念の大きさに関するイメージの抽出 佐々木 康佑, 西川 純平, 森田 純哉 (静岡大学) • 1T-P9 テレワークの仮想オフィス出勤を促進するチーム内アウェアネス共有システムの検討 黒崎 航平, 藤田 欣也 (東京農工大学) • 1T-P10 オンライン授業における他の受講生からのアウェアネス情報が授業への集中と理解に及ぼす影響 林 遼馬, 岡 大誠, 川合 優作, 小松 由佳, 高見 つかさ 鍋田 隼希, 鈴木 優司, 辰己 晶洋, 大久保 雅史 (同志社大学) • 1T-P11 感性に基づいた合意形成メカニズム解明の試み (3) ~実験による NoForT ゲームのタスクデザイン調整~ 鎌苅 亮汰, 山脇 瑞記, 坂本 佳樹, 上田 樹美, 石井 裕剛 下田 宏 (京都大学), 伊藤 京子 (京都橘大学) • 1T-P12 2次元仮想空間に投影された身体-アバターの身体性を排除してもパーソナルスペースは存在するのか 井坂 匡希, 笠原 千聖, 伊藤 理紗, 阪田 真己子 (同志社大学) • 1T-P13 触覚ディスプレイ開発に向けた振動刺激呈示時の手掌の空間知覚特性の検討 新銅 央行, 小谷 賢太郎, 鈴木 哲, 朝尾 隆文 (関西大学) • 1T-P14 対象への関心度が選好判断初期の視線の動きに与える影響 百瀬 桂子, 吉田 杏奈 (早稲田大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 1T-P15 タスク複雑性分析に基づく熟練技能者のマルチタスク遂行時の操作戦略性評価 安江 成輝, 榎木 哲夫, 中西 弘明 (京都大学) • 1T-P16 変化点検出アルゴリズムにより抽出した英文読解時視線運動パターンの分析 堀口 由貴男 (関西大学), 河合 悠奈 (京都大学) 西川 美香子 (長崎大学), 中西 弘明, 榎木 哲夫 (京都大学) • 1T-P17 さまざまな難易度の認知課題遂行中の注意資源配分量を電気刺激に対する事象関連電位 (P300) から推定する手法の開発 植弘 雄斗, 上田 一貴, 山田 和佳 (東京大学) 中田 和志, 辻本 直樹, 村田 和寛 (コマツ製作所) 中尾 政之 (東京大学) • 1T-P18 注意焦点教示が初学者のボールジャグリング遂行に及ぼす影響 大谷 空遊希, 西崎 友規子 (京都工芸繊維大学) • 1T-P19 微小な変化を持たせた映像による意識への影響 加藤 隼太郎, 小幡 祐樹, 飛田 和子, 本多 博彦 (湘南工科大学) • 1T-P20 かわいい顔には近づきたくなるか? -成人女性顔に対する接近反応の検証- 藏口 佳奈, 入戸野 宏 (大阪大学) • 1T-P21 主観と俯瞰視点を変更可能な VR 空間における KML 地理情報の可視化手法の検討 江副 樹, 柴田 傑 (茨城大学) • 1T-P22 視点の低いアバタでの VR 体験の終了時における違和感軽減支援手法の検討 黒木 雄貴, 大津 耕陽, 泉 朋子 (立命館大学)



8月31日(水)

討論発表

A会場 (100周年記念会館 ホール1)	B会場 (第3学舎 A202)
1A 生体計測1 15:15 ~ 16:45 座長：田中 久弥 (工学院大学) 副座長：近井 学 (産業技術総合研究所)	1B 身体的インタラクション 15:15 ~ 16:15 座長：石井 裕 (岡山県立大学) 副座長：井上 全人 (明治大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 1A-1 ビデオゲームにおける競争への選好性がゲーミフィケーションを用いた教育アプリケーション中の認知状態に与える影響 一事象関連電位を用いた検討 渡部 宏樹, 田畑 礼人, 成瀬 康 (情報通信研究機構) • 1A-2 筋電位を用いたスマートグラス表示切替えのための作業動作完了検出手法の提案 上畠 康輔, 井上 剛 (大阪工業大学) • 1A-3 事象関連電位はメタバース (VR空間) でのプロテウス効果によって変調される 岩崎 正紘 (情報通信研究機構 / 大阪大学) 横田 悠右, 成瀬 康 (情報通信研究機構) 	<ul style="list-style-type: none"> • 1B-1 衝突時振動フィードバックによる仮想空間での協調行動特性 藤岡 湊人, 郷 健太郎, 木島 章文, 木下 雄一郎 (山梨大学) • 1B-2 CGキャラクターの動作矛盾における視線情報が行動予測へ与える影響 楊 立衡, 瀬島 吉裕 (関西大学)

ワークショップ

E会場 (第3学舎 A303)	F会場 (第3学舎 A304)	G会場 (第3学舎 A404)
WS1 17:00 ~ 18:30 デザイン思想・哲学専門研究委員会 はじめます。	WS2 17:00 ~ 18:30 SIGMAS チャンネル Act.3 「安全マネジメントの在り方の再考： 番外編」	WS3 17:00 ~ 18:30 街を歩いて HI 研究の種を見つけよう



C会場 (第3学舎 A301)	D会場 (第3学舎 D302)
1C 住まい・生活 15:15 ~ 16:45 座長：百瀬 桂子 (早稲田大学) 副座長：田中 宏 (富士通)	1D 交通 15:15 ~ 16:45 座長：西山 敏樹 (東京都市大学) 副座長：篠原 一光 (大阪大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 1C-1 寝返りを促す枕デバイス設計に向けた枕形状への傾斜付与の効果検証 黒木 琢央, 伴 祐樹, 割澤 伸一 (東京大学) • 1C-2 異なる着用感を持つフットウェア素材の運動時における主観評価 中村 ふみ子 (津山工業高等専門学校) 才脇 直樹 (奈良女子大学) • 1C-3 顔動画像からの心拍推定に基づくファンデーションの塗りムラ検出手法 片岡 優衣奈, 青石 奈那香, 渡邊 正人, 廣江 葵, 長松 隆 (神戸大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 1D-1 VR動画を活用した運転士・添乗員の視線計測比較試験および評価 西上 逸揮 (アイワイ鉄道コンサルティング) 水間 毅 (京三製作所), 篠田 憲幸 (しのだ技研) • 1D-2 運転支援のためのフロントガラス周辺からの情報提示方法 —情報提示位置およびシーンが与える影響の分析— 高比良 英朗 (名古屋大学) 平山 高嗣 (名古屋大学 / 人間環境大学) 村瀬 洋 (名古屋大学), 池田 優介 (AGC) • 1D-3 大規模災害時の空港面運用に関するシミュレーションによる課題の検討 青山 久枝 (海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所) 荒谷 太郎, 間島 隆博 (海上・港湾・航空技術研究所 海上技術安全研究所) 山田 泉, 今込 毅 (海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所)

H会場 (第3学舎 A405)	B会場 (第3学舎 A202)
WS4 17:00 ~ 18:30 MediaPipe で Go! Servo!	WS5 17:00 ~ 18:30 デザインのステークホルダーの呼称について考える



9月1日(木)

討論発表

A会場(100周年記念会館 ホール1)	B会場(第3学舎 A202)
<p>2A 生体計測 2 10:00 ~ 12:00 座長: 河野 純大 (筑波技術大学) 副座長: 藤本 雄一郎 (奈良先端科学技術大学院大学)</p>	<p>2B 社会デザイン 10:00 ~ 11:00 座長: 山本 知仁 (金沢工業大学) 副座長: 上田 樹美 (京都大学)</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 2A-1 光センサによる身体計測に向けたシミュレータの試作 松尾 佳奈, 杉浦 裕太 (慶應義塾大学) • 2A-2 スマートフォンカメラを用いた涙液層の観察とその動態解析 岡崎 善朗, 巖淵 守 (早稲田大学) 横井 則彦 (京都府立医科大学) • 2A-3 磁気式 MoCap 装置と力覚センサを用いた指先の押し動作と接触力の同時計測システムの考案 泉部 航太, 藤原 克哉, 水戸部 一孝 (秋田大学) • 2A-4 予測可能性と観測精度が操作主体感に与える影響: 自由エネルギーモデルを用いた予測と実験検証 谷山 建作 (東京大学), 澁江 秀明 (本田技術研究所) 柳澤 秀吉 (東京大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 2B-1 「責任ある研究とイノベーション (RRI)」の社会実装に向けて ~実際の研究者像を考える~ 得能 想平 (大阪大学), 伊藤 京子 (京都橋大学) 藤井 翔太, 村田 正幸 (大阪大学) • 2B-2 環境意識のステージと家電使用状況の関係に関する研究 スチアディ ステファニー D. (慶應義塾大学) 坂田 理彦 (三菱電機), 中西 美和 (慶應義塾大学)



C会場 (第3学舎 A301)	D会場 (第3学舎 D302)
<p>2C 感覚・知覚 10:00 ~ 11:30 座長：石井 裕剛 (京都大学) 副座長：大林 史明 (パナソニック)</p>	<p>2D 一般 (オンライン発表) 10:00 ~ 11:30 座長：小林 真 (筑波技術大学) 副座長：小倉 加奈代 (岩手県立大学)</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 2C-1 左右に傾いた複数のディスプレイで構成される形状がタッピング操作に及ぼす影響 丸田 達也, 山川 奈央人, 木下 雄一郎, 郷 健太郎 (山梨大学) • 2C-2 独立温湿度刺激による乾燥湿潤 VR システムの開発 玉木 聖悟, 許 佳禱, 家永 直人, 黒田 嘉宏 (筑波大学) • 2C-3 8K メディアシステムの感情移入効果に対する評価 福原 哲哉, 小木 哲朗 (慶應義塾大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 2D-1 健康な高齢者によるウェアラブル型健康情報機器利用 (1) : 健康情報機器の導入可能性 安久 絵里子 (筑波大学), 讃井 知 (筑波大学 / 上智大学) 原田 悦子 (筑波大学) • 2D-2 健康な高齢者によるウェアラブル型健康情報機器利用 (2) : 主体的な継続利用の可能性 讃井 知 (上智大学 / 筑波大学) 安久 絵里子, 原田 悦子 (筑波大学) • 2D-3 空間メタファを用いた経験の再固定化、および、経験転写技術の検討 石井 陽子, 永徳 真一郎, 石井 亮, 能登 肇, 深山 篤, 中村 高雄 (NTT)



9月1日(木)

対話発表

ショットガンセッション (会場：A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1))		13:00 ~ 13:20
会場：100 周年記念会館 2 階 ホール 2 /ロビー (モニュメント前)		
2T 審査員：藤田 欣也 (東京農工大学) 雨宮 智浩 (東京大学)	13:30 ~ 15:00	2T 審査員：村田 和義 (青山学院大学) 安在 絵美 (奈良女子大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 2T-D1 接客ロボットの言語・非言語行動の積極性がユーザに与える印象評価の日米比較 新谷 一真, 神田 智子 (大阪工業大学) • 2T-D2 (PoKeBo Talk) 思いつきをよせ集めるブリコラージュ風発話生成システムの提案 佐々木 冬威, 長谷川 孔明, 大島 直樹, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 2T-D3 植物と組み合わせたセラピーロボット「ルロボット」の開発 水野 裕貴, 柳澤 一機 (日本大学) • 2T-D4 自立型ロボットを用いたゲーム性のある強化学習教材の開発 和田 翔, 柳澤 一機 (日本大学) • 2T-D5 (PoKeBo Studio) 構成主義的学習に向けたプレイフルインタフェースの提案 多田 魁登, 長谷川 孔明, 大島 直樹, 岡田 美智男 (豊橋技術科学大学) • 2T-D6 自己歩容とのインタラクションによる歩行姿勢の補正手法の提案 武藤 剛 (文教大学), 粕谷 譲 (テレビジネス) 大柴 雅基, 鈴木 友菜, 山田 竜平, 萩原 瑞貴 (文教大学) 武藤 ゆみ子 (玉川大学) • 2T-D7 肢体不自由者向け暗証番号入力方式の提案 萱間 惇平, 柏木 音羽, 安藤 史織, 田中 元晴, 岡本 学 (神奈川工科大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 2T-D8 継続的な支援技術サービスを行うための対話型アセスメントツール「AT チャットロボット」の試作 渡辺 崇史 (日本福祉大学), 巖淵 守 (早稲田大学) 保正 友子, 浅石 裕司 (日本福祉大学), 藤井 博之 (長野大学) • 2T-D9 ステレオカメラ撮影を使わない立体実写映像：3D-Kinetoscope 益岡 了 (大阪工業大学) 五島 一浩 (イメージフォーラム映像研究所) 緒方 誠人 (UX デザイン研究所), 川合 康央 (文教大学) • 2T-P1 深層学習を用いたデプス画像の精度向上に関する研究 村山 真大, 石井 裕剛, 下田 宏 (京都大学) • 2T-P2 自己投影アバターによる引き込みを用いた 2D-CG 音声対話システム 東 省吾, 李 晃伸 (名古屋工業大学) • 2T-P3 深層学習を利用した視覚障害者のための最適空席検出システムの開発 井原 英一郎, 荘司 拓磨, 関 弘和 (千葉工業大学) • 2T-P4 深層学習を用いた手首回転動作筋電義手制御システムの開発 石塚 洋輔, 高橋 智哉, 関 弘和 (千葉工業大学) • 2T-P5 高齢者の認知機能を向上するための VR モーションゲーム 久保 尊亮 (高知工科大学), 李 曉旋 (高知工科大学 / 大阪大学) 任 向実 (高知工科大学) 	
HI2022 大会長挨拶・HI2023 アピールタイム・企業展示アピールタイム (会場：A 会場)		15:15 ~ 15:45
特別講演 (会場：A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1))		16:00 ~ 17:00
ソーシャルイベント		18:00 ~ 20:00



ショットガンセッション (会場：A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1)) 13:00 ~ 13:20

会場：100 周年記念会館 2 階 ホール 2 /ロビー (モニュメント前)

2T 審査員：上杉 繁 (早稲田大学) 河野 純大 (筑波技術大学)	13:30 ~ 15:00	2T 審査員：岡橋 さやか (国立長寿医療研究センター) 大林 史明 (パナソニック)	13:30 ~ 15:00
<ul style="list-style-type: none"> • 2T-P6 手動車いす操作支援を目的としたハンドリム把持補助システムの開発 千田 凌雅, 仲間 吉紀, 関 弘和 (千葉工業大学) • 2T-P7 機械学習とカメラを用いた重度障害のある人の随意運動を捉えるインタフェースの開発 小宮山 正晴, 巖淵 守 (早稲田大学) 赤松 裕美, 堀江 新, 中邑 賢龍 (東京大学) • 2T-P8 スポーツ観戦を模擬したオンライン環境における視覚・聴覚障害者向け情報保障実験 小林 真, 白石 優旗, 若月 大輔, 鈴木 拓弥 (筑波技術大学) 塩野目 剛亮 (帝京大学), 張 建偉 (岩手大学) 平賀 瑠美 (筑波技術大学) • 2T-P9 情報機器による音声指示に関わる高齢者の特性 勝川 慶一, 西崎 友規子 (京都工芸繊維大学) • 2T-P10 音声を利用した英語学習支援—初学者や読み書きに困難のある人向けの学習用インタフェースの開発— 伊勢居 美良, 巖淵 守 (早稲田大学) 村田 美和 (高崎健康福祉大学) • 2T-P11 発散的思考の柔軟性評価のための代替用途テストで提示する題目の検討 深田 龍之介, 上田 樹美, 石井 裕剛, 下田 宏, 大林 史明 (京都大学) • 2T-P12 下腿部筋電位を用いた電動アシスト車いすの片漕ぎ走行制御システム 正野 紗矢香, 猿谷 日和, 関 弘和 (千葉工業大学) • 2T-P13 発話音声を活用した接客行動分類のためのキーワード選出に関する基礎的検討 水浪 田鶴, 近井 学, 伊藤 納奈, 緒方 淳, 瀧澤 大吾 (産業技術総合研究所) 大曲 哲雄, 遠藤 圭悟, 伊藤 州平 (全日本空輸) 佐藤 洋 (産業技術総合研究所) 		<ul style="list-style-type: none"> • 2T-P14 接客行動の熟練度評価指標構築に向けたアンケート調査 近井 学, 伊藤 納奈, 水浪 田鶴, 遠藤 博史, 氏家 弘裕, 岩木 直 (産業技術総合研究所) 大曲 哲雄, 遠藤 圭悟, 伊藤 州平 (全日本空輸) 佐藤 洋 (産業技術総合研究所) • 2T-P15 個を大切にするパーソンセンタードesignの実践—介護職員の防衛反応行動とdesign実践から介護の理想と現実を考える— 井原 雅行, 徳永 弘子 (理化学研究所) 中島 知巳 (理化学研究所 / やまなみ介護生活) 猿渡 進平 (理化学研究所 / 白川病院) 後藤 裕基 (理化学研究所 / 明輝会) 梅崎 優貴 (理化学研究所 / 親仁会) • 2T-P16 介護従事者が共創プロジェクトに対して抱く期待と不安の質的分析 徳永 弘子, 井原 雅行 (理化学研究所), 村上 宏樹 (白川病院) 猿渡 進平 (理化学研究所 / 白川病院), 竹下 一樹 (白川病院) 古賀 昭彦, 行平 崇 (理化学研究所 / 帝京大学) 久野 真矢 (理化学研究所 / 県立広島大学) • 2T-P17 1 型糖尿病患者への技術支援 (その 2—ライフログ活用準備—) 安本 勝哉 (産業技術総合研究所) • 2T-P18 頸部への振動刺激による食感向上に向けた検討 大森 信行 (長野県工業技術総合センター / 産業技術総合研究所) 市川 綾花, 小本 曾 加奈 (長野県立大学) 遠藤 博史, 近井 学, 田辺 健 (産業技術総合研究所) 井野 秀一 (大阪大学) • 2T-P19 スマートフォンの磁気センサとアタッチメントによるピンチ力推定手法の提案 山本 さりい (慶應義塾大学), 池松 香 (ヤフー) 杉浦 裕太 (慶應義塾大学) • 2T-P20 ゲーミフィケーションを活用したスマートフォン使用抑制を促すメッセージ通知システム 田中 宏樹, 村田 和義 (青山学院大学) • 2T-P21 自動再生型のトイレ用擬音装置への「わずらわしさ」を軽減するためのシステムdesignの検討 星隈 泉穂, 北村 尊義 (香川大学) 	

HI2022 大会長挨拶・HI2023 アピールタイム・企業展示アピールタイム (会場：A 会場) 15:15 ~ 15:45

特別講演 (会場：A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1)) 16:00 ~ 17:00

ソーシャルイベント 18:00 ~ 20:00



9月2日 (金)

対話発表

ショットガンセッション (会場: A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1))		10:00 ~ 10:20
会場: 100 周年記念会館 2 階 ホール 2 /ロビー (モニュメント前)		
<p>3T 10:30 ~ 12:00 審査員: 藤原 克哉 (秋田大学) 志築 文太郎 (筑波大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3T-D1 物件情報システムにおける視線興味推定の検証と視線入力 UI の配置に関する検討 富田 智晶, 鈴木 雄介, 赤津 裕子 (沖電気工業) • 3T-D2 2本のジョイスティックとボタンの組み合わせ操作によるゲームパッド向けかな文字入力手法 足達 俊介, 加藤 恒夫, 田村 晃裕 (同志社大学) • 3T-D3 発話内容変換を用いて多様な発話スタイルを実現するプロトタイプアプリの実装 滝田 巧平, 青柳 西藏, 平井 辰典 (駒澤大学) • 3T-D4 場の盛り上がり推定モデルを用いた背景色変化による場の雰囲気表現システムの開発 稲垣 早紀, 森田 大樹, 瀬島 吉裕 (関西大学) • 3T-D5 視力低下糖尿病患者向け問診システムの試作と評価 小日向 大樹, 本吉 達郎, 澤井 圭, 増田 寛之, 高木 昇 (富山県立大学) • 3T-D6 学習状況の推定を目指したタンジブルなプログラミングツールの操作履歴取得システムの開発と評価 瀧田 一誠, 本吉 達郎, 澤井 圭, 増田 寛之, 高木 昇 (富山県立大学) • 3T-D7 通級指導教室の児童に向けた眼球運動トレーニングシステムの開発 中尾 歩 (関西学院大学), 青柳 西藏 (駒澤大学) 山本 倫也 (関西学院大学) 北出 勝也 (視機能トレーニングセンター Joy Vision) 井阪 幸恵 (和泉市立国府小学校) 	<p>3T 10:30 ~ 12:00 審査員: 岡 耕平 (滋慶医療科学大学) 廣井 富 (大阪工業大学)</p> <ul style="list-style-type: none"> • 3T-D8 統合アプリを用いた危険感受性・敢行性の評価に関する研究 佐藤 圭哉, 平田 光明, 高橋 信 (東北大学) 鹿毛 佳子, 池野 太郎 (東京電力ホールディングス) • 3T-D9 協調安全を用いた高所作業の安全・安心化による作業者のウェルビーイングの向上 森 朋仁 (大和ハウス工業) • 3T-D10 リニアアクチュエータを用いた高さ情報を含めた形状情報伝達システムの提案 岩淵 有真, 本吉 達郎, 澤井 圭, 増田 寛之, 高木 昇 (富山県立大学) • 3T-P1 仮想環境におけるポジティブ感情の生起による記憶成績の向上 細川 理徒, 西崎 友規子 (京都工芸繊維大学) • 3T-P2 目視外観検査における習熟訓練のための手に持つ3次元物体上の注視点検出システム 福元 清剛, 阪口 恵真, 海老澤 嘉伸 (静岡大学) • 3T-P3 優柔不断な人の購買行動後の満足度の店員の声掛けによる違い 藤野 秀則, 中西 沙綺 (福井県立大学) • 3T-P4 スマートフォンの過剰使用抑制のためのフィードバック効果の分析 木村 航平, 藤田 欣也 (東京農工大学) • 3T-P5 認知症患者の家電製品使用における中核症状の現れ方の考察 仙波 未奈美, 木下 彩栄 (京都大学) 	



ショットガンセッション (会場: A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1)) 10:00 ~ 10:20

会場: 100 周年記念会館 2 階 ホール 2 /ロビー (モニュメント前)

3T 10:30 ~ 12:00 審査員: 葛岡 英明 (東京大学) 北村 喜文 (東北大学)	3T 10:30 ~ 12:00 審査員: 田中 貴紘 (名古屋大学) 水戸部 一孝 (秋田大学)
<ul style="list-style-type: none"> • 3T-P6 オンライン授業の冒頭での通学動画の提示が意識の切り替えに与える影響の調査 大津 耕陽, 磯田 竜輝, 泉 朋子 (立命館大学) • 3T-P7 使い手と作り手の関係を再考する — 中動態的視座・仏教的視座を手がかりに— 安藤 昌也 (千葉工業大学) • 3T-P8 日立風流物で使用される首を閲覧するシステム作成 李 善超, 柴田 傑 (茨城大学) • 3T-P9 動物行動観察コンテンツにおける定点カメラ映像への観察着眼点の自動付与の可能性検証 吉田 信明 (京都高度技術研究所), 塩瀬 隆之 (京都大学) 田中 正之 (京都市動物園 / 京都大学) • 3T-P10 学習意欲の促進を狙った職業と授業の関連性の可視化インターフェース 小池 雄貴, アイエドゥン エマヌエル, 徳丸 正孝 (関西大学) • 3T-P11 カメラ搭載ヒアラブルデバイスで取得した耳画像を用いた個人識別・認証システムの提案 瑞穂 ゆりな, 川崎 陽平 (慶應義塾大学), 雨坂 宇宙 (筑波大学) 杉浦 裕太 (慶應義塾大学) • 3T-P12 本線へ合流するドライバーへ向けた自動運転車の譲り意図提示 eHMI 佐伯 英日路, 志堂寺 和則 (九州大学) • 3T-P13 マルチタスク環境下におけるチーム協調に関する実験的検討 竹井 しのぶ, 狩川 大輔 (東北大学) 青山 久枝 (海上・港湾・航空技術研究所 電子航法研究所) 高橋 信 (東北大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 3T-P14 道路外を通行して避難すべきかの判断を補助するスマートウォッチによる情報提供手法の提案 間瀬 朱璃, 北村 尊義 (香川大学) • 3T-P15 後続車の加速度があおり運転知覚時の車間距離及び危険度に及ぼす影響 春日井 陵午, 倉田 優斗, 山高 正烈 (愛知工科大学) 荒川 俊也 (日本工業大学), 早見 武人 (北九州市立大学) • 3T-P16 自転車シミュレータを用いた安全な注意喚起方法の検討 花谷 侑樹, 西崎 友規子 (京都工芸繊維大学) • 3T-P17 単純接触効果を狙ったショート動画警告によるセキュリティ意識向上の試み 及川 拓也 (日立ソリューションズ東日本) 小倉 加奈代 (岩手県立大学) • 3T-P18 Activity Based Working 関連用語の提案 福住 伸一 (理化学研究所 / 東京都立大学) • 3T-P19 集中度推定に向けたかな漢字変換結果確認時間の変動要因の分析 佐伯 怜祐, 林 武志, 山本 伊吹, 藤田 欣也 (東京農工大学) • 3T-P20 郊外都市での高齢者、障がい者の移送及び物流を担う UD Mobility とその運用の研究 — 新しい UD 車両デザインとその評価に着目して— 田中 晴美, 西山 敏樹 (東京都市大学) • 3T-P21 聴覚刺激が知的集中に及ぼす影響に関する測定実験プロトコルの検討 伊藤 弘章, 野口 賢一, 千葉 大将 (NTT) 上田 樹美, 下田 宏 (京都大学)



9月2日 (金)

討論発表

A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1)	B 会場 (第 3 学舎 A202)
<p>3A 障がい者・高齢者支援 13:30 ~ 15:00 座 長：渡辺 哲也 (新潟大学) 副座長：岩木 直 (産業技術総合研究所)</p>	<p>3B コミュニケーションデザイン 13:30 ~ 15:00 座 長：福住 伸一 (理化学研究所) 副座長：渋谷 雄 (京都工芸繊維大学)</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 3A-1 軽度認知障害評価のための渦巻き描画課題の副課題の出現タイミングにおける特徴の解析 松橋 賢汰, 藤原 克哉, 水戸部 一孝 (秋田大学) • 3A-2 RTK-GNSS を用いた子供の屋外遊びにおける対人距離計測 辻 愛里 (東京農工大学), 塚本 匡 (専修大学) • 3A-3 地域住民の認知症支援意識を高める統合プログラムにおける認知症体験 VR コンテンツの評価 伊藤 研一郎, 鈴木 はるの, 久貝 波留菜, 高岡 茉奈美, 松本 博成, 目 麻里子, 五十嵐 歩, 山本 則子 (東京大学) 	<ul style="list-style-type: none"> • 3B-1 ビデオ対話における共同注意に着目したプレゼンテーションモードの設計 佐藤 豪洋, 近藤 一晃, 下西 慶, 中村 裕一 (京都大学) • 3B-2 日中越における指示語の対象に対する認識の比較 王 斌宇, 竹内 勇剛 (静岡大学) • 3B-3 AI - 人間共生の持続的発展に資する権限委譲システム 高橋 信, 杉浦 元亮, 虫明 元 (東北大学) 三浦 直樹 (東北工業大学), 狩川 大輔, 湯田 恵美 (東北大学)
<p>閉会式・プレゼンテーション賞表彰式 (会場：A 会場 (100 周年記念会館 ホール 1)) 15:30 ~ 16:00</p>	



C会場 (第3学舎 A301)	D会場 (第3学舎 D302)
<p>3C サービスデザイン 13:30 ~ 15:00 座長：泉 朋子 (立命館大学) 副座長：常盤 拓司 (慶應義塾大学)</p>	<p>3D 入出力 13:30 ~ 15:00 座長：長松 隆 (神戸大学) 副座長：伊藤 淳子 (和歌山大学)</p>
<ul style="list-style-type: none"> • 3C-1 集合住宅の住民に対するゴミ分別マナー行動変容施策の実証実験への行動変容デザイン手法の適用 物井 愛子, 堀 聡美, 新関 亮太, 中嶋 啓, 奥野 僚介 (日立製作所) • 3C-2 鉄道車両を移動式スーパーに仕立てあげた“買い物列車”に関する評価と考察 小山田 祥, 二宮 伊真里, 松本 和樹, 西山 敏樹 (東京都市大学) • 3C-3 テレワークを効果的に推進する動く職場「オフィスカー」のデザイン 西山 敏樹, 信太 洋行, 小見康夫, 斉藤 圭, 諫川 輝之 (東京都市大学) 平賀 俊孝, 根本 正樹 (キワ・アート・アンド・デザイン) 	<ul style="list-style-type: none"> • 3D-1 画像提示により主観的幸福度の向上を促すソフトウェアキーボード 岩邊 元, 郷 健太郎, 木下 雄一郎 (山梨大学) • 3D-2 フレキシブルディスプレイ上でユーザーに特定の操作を促す形状変化特性の解明 平澤 志都, 木下 雄一郎, 郷 健太郎 (山梨大学) • 3D-3 没入型 VR 空間と実空間における示指を用いた手書き文字入力と比較 安藤 遼馬, 藤原 克哉, 水戸部 一孝 (秋田大学)
<p>閉会式・プレゼンテーション賞表彰式 (会場：A会場 (100周年記念会館 ホール1)) 15:30 ~ 16:00</p>	



●会場

関西大学 千里山キャンパス

住所：大阪府吹田市山手町3丁目3番35号

※受付は100周年記念会館3階 エントランスとなります。

●アクセス

・電車でのアクセス

阪急電鉄千里線「関大前」駅下車、すぐ（正門までは徒歩約5分）。

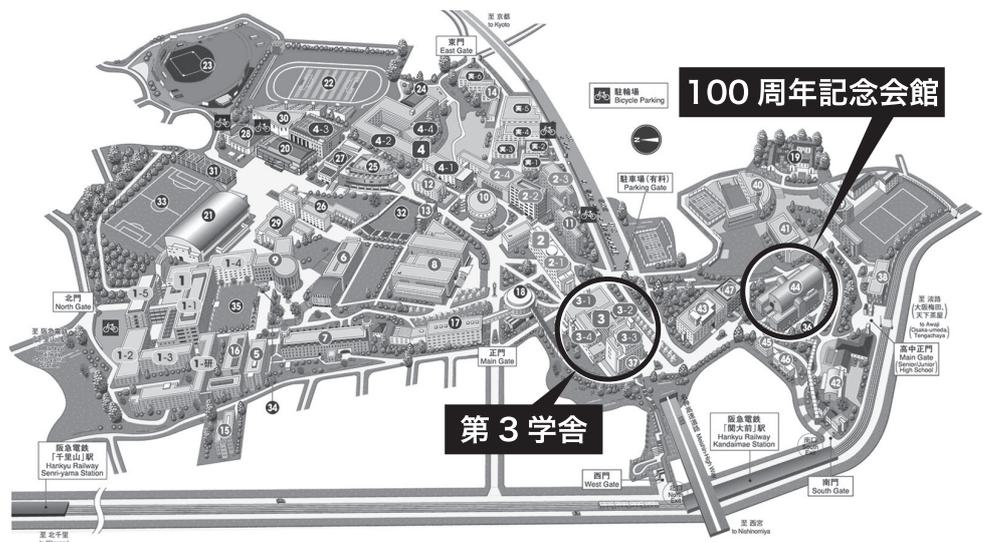
・新幹線「新大阪」駅からのアクセス

JR「新大阪」駅から地下鉄 Osaka Metro 御堂筋線「なかもず」行で「西中島南方」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「南方」駅から「淡路」駅を経て「関大前」駅下車（この間約30分）。

・大阪（伊丹）空港からのアクセス

大阪モノレール「大阪空港」駅から「門真市」行で「山田」駅下車、阪急電鉄に乗り換え「関大前」駅下車（この間約30分）。

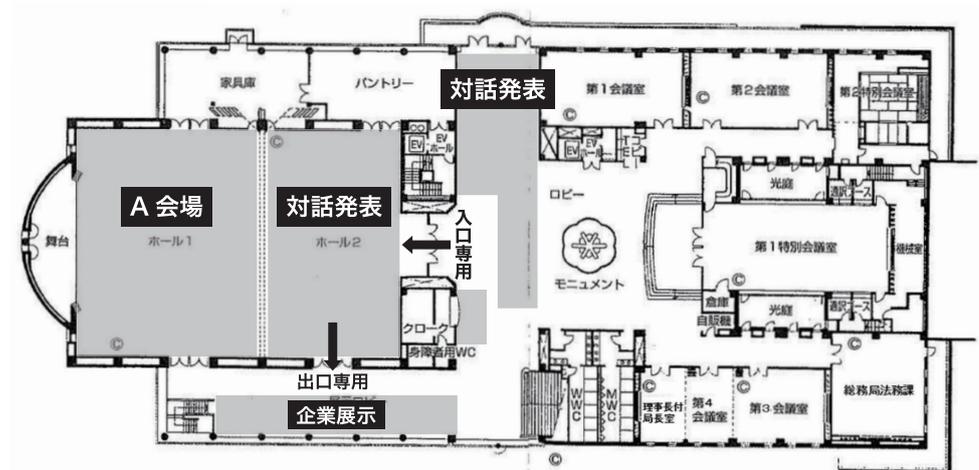
●キャンパスマップ



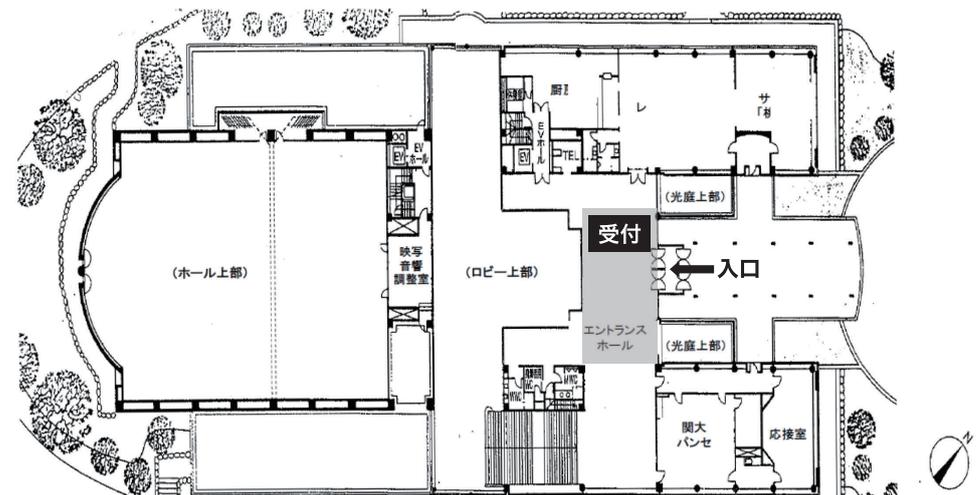


●会場図

100周年記念会館・2階



100周年記念会館・3階

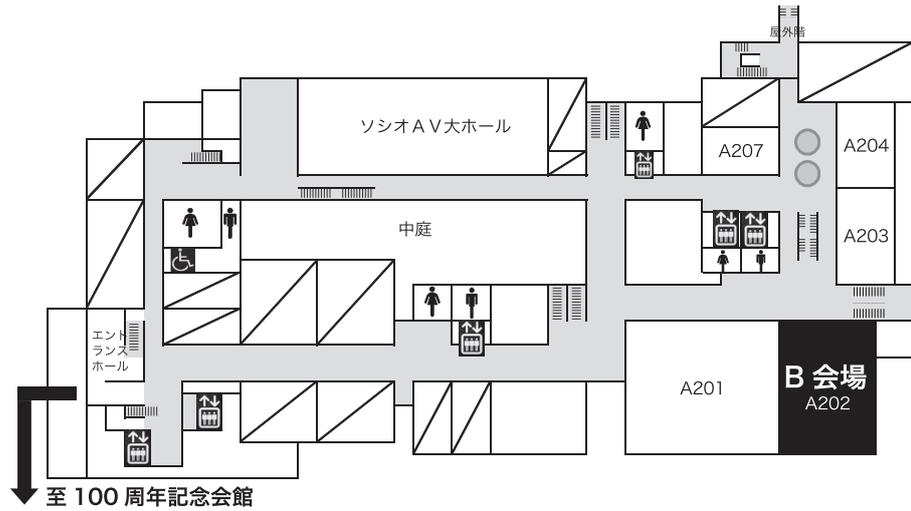


※ 100周年記念会館の
地上階（入口）は
3階です。

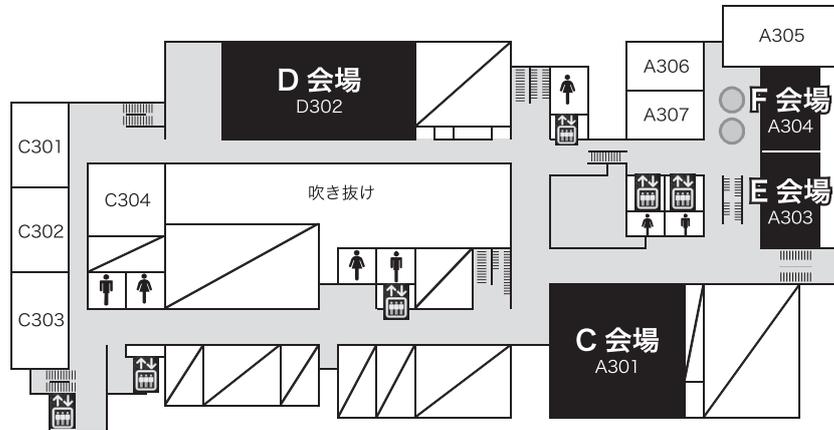


●会場図

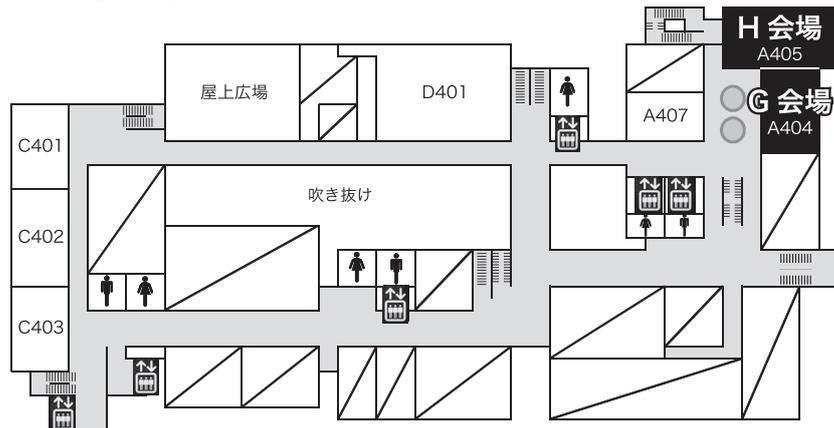
第3学舎・2階



第3学舎・3階



第3学舎・4階





●参加費と参加申込

■参加費

	早期割引参加費（7/4(月)まで）(3)		通常参加費（7/5(火)以降）
	《発表と聴講》	《聴講》	《聴講》
学会員 協賛会員	13,000- (1)(2)	13,000- (2)	15,000- (2)
非会員	21,000- (1)(2)	21,000- (2)	24,000- (2)
学生会員 協賛会員	13,000- (1)(2)	2,000- (2)	2,000- (2)
非会員学生	21,000- (1)(2)	9,000- (2)	10,000- (2)
資料のみ	-	8,000- (4)	8,000- (4)

※表示価格には税金が含まれております。

(1) 発表原稿提出前に参加費支払いと参加登録が必要です。なお、一人で複数発表の場合、件数分の参加費が必要です。

(2) 参加費には、ワークショップ・オンライン論文集代金が含まれております。

(3) 早期割引参加費は2022年7月4日(月)以前にお支払いを完了された方に限り適用となります。

(4) 後日送付となりますので別途送料が必要となります。

※関西大学在学の学生については、聴講のみ学生会員価格での参加が可能になります。

※Evening Sessionは中止となります。

■申込方法

・ <https://hi2022osaka.peatix.com> からオンライン申込できます。

※ Peatix による参加登録になります

■お問合せ先

特定非営利活動法人

ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815

京都市下京区中堂寺栗田町 93 番地

京都リサーチパーク 6 号館 3 階

TEL : 075-315-8475 FAX : 075-326-1332

E-mail : his-symp@his.gr.jp

URL : <https://jp.his.gr.jp/symposium/symposium2022/>

Human Interface 2023 SAGAMIHARA

ヒューマンインタフェースシンポジウム
2023

開催予告

2023年9月予定

青山学院大学 相模原キャンパス

●発表形式と内容

討論発表（口頭発表 15分＋討論 15分）（予定）

新しい研究成果についての口頭発表とその討論。特に、研究の結果について、フロアとの活発な議論をご希望の方にお勧めします。

対話発表

実機や実演を取り込んだ対話形式による発表です。

参加者の投票によるプレゼンテーション賞の表彰を予定しております。

企業展示

ヒューマンインタフェース関連の製品や商品の紹介を歓迎します。

●発表申込

学会ホームページ（<https://jp.his.gr.jp/>）をご覧ください。

●問合せ先

特定非営利活動法人 ヒューマンインタフェース学会事務局

〒600-8815 京都市下京区中堂寺栗田町93番地

京都市サーチパーク6号館3階

TEL：075-315-8475 FAX：075-326-1332

E-mail：his-symp@his.gr.jp

URL：https://jp.his.gr.jp/